



旭川市立東光中学校
令和7年度
学校だより③
9月29日 発行

〒078-8348 旭川市東光8条2丁目 Tel:0166-32-1295 Fax 0166-32-1296

SNSがはらむ危険性について

校長 高島 伸彦

インターネットやスマートフォンは安全に正しく使うことができればとても役立つ便利なものですが、市内でも誹謗中傷やいじめにつながる内容が拡散して炎上したり、事件に巻き込まれるきっかけになったりするような事例も報告されています。また、被害を受けることばかりではなく、相手を傷つけ加害者になってしまうケースもあります。

さらに、スマホで写真を撮ってSNSに投稿をする行為は、日常化してきています。SNSを利用していく中で、『何が正しくて、何が間違った行為なのか』という正しい判断をすることが難しくなっているようです。

そこで、生徒たちには、1学期に「SNS等のトラブルに係る非行防止教室」や「情報モラルに関する道徳の授業および学年集会」を実施し、『他人ごとではなく、自分への振り返りと気づきを含めて、今の自分はどうなのか?』『どうすれば、みんなで危機意識をもてるようになるのか?』等について考えてもらいました。また、具体的には、以下の5点について伝えました。

- ①人の写真や個人名、場所が特定されるような動画など、いかなる場合でも、許可なく、勝手に個人情報を投稿しないこと。不特定多数の人が見る可能性のある場合は、個人情報が流出され、位置情報等で住んでいる場所が特定されるなどの危険性が潜んでいること。
- ②他人が投稿したものを興味半分や、おもしろがって不特定多数の人たちに流出させる行為は「違法行為」であること。勝手に個人画像や個人名を投稿することも犯罪行為であること。また、これらは、「損害賠償」を請求される対象にもなること。
- ③インターネット上のコメント欄などにおいて、投稿した写真や動画等の内容について、一方的に投稿した人に対して批判や誹謗中傷などを含む投稿が集中することを「炎上する」と言うが、これによる損害は、心理的、経済的なものが発生する危険性が高いこと。とりわけ、Instagramの「ストーリーズ」では、『フォロワー数が少ないから、どうせ見せるのは仲間内だけ。なおかつ、24時間で自動消滅する。』という油断から、悪口・悪ふざけなど人としてのマナーやモラルに欠けた動画や写真を投稿して、いじめにつながることもあるとともに、内容の拡散により「炎上」となって取り返しがつかないような問題に発展する事例も数多くあること。
- ④一度拡散してしまった動画や写真、個人情報をすべて削除するのは難しく、一生ネットの世界から消失しない危険性があること。
- ⑤適切な情報をしっかりと取捨選択・選別吟味して活用すること。

今求められるのは、「生徒たちが自分や自分たちの日常を振り返り、見つめなおすことから、自分が行う行為が正しいのか、間違っているのかを冷静に判断する力」です。つまりは、投稿する内容が誰かを傷つけることになっていないか吟味する力であり、とりわけ発信した情報や内容がデマやうわさであった場合は取り返しのできないことを認識しなければなりません。

本校でも繰り返しSNSの使用について、その危険性について考え、自分自身の日常を振り返る、見つめ直すことができるような機会を設けていきます。ご家庭でもご指導・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

中体連バドミントン全道大会

7月30日～8月1日に小樽市で開催された全道バドミントン大会ダブルスの部に、3年生の山本・高橋ペアが出場しました。1回戦では、見事に北檜山中のペアに2-0で圧勝。2回戦では、強豪のCBBC白糠のペアに惜しくも敗れましたが、全道に東光中バドミントン部の実力を示してくれました。



▲小樽市総合体育館にて

吹奏楽コンクール旭川地区予選金賞！ 全道コンクールに出場しました！！

8月3日（日）、旭川市民文化会館で開催された北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選A編成の部に吹奏楽部が出場し、課題曲「マーチ・メモリーズ リフレイン」・自由曲「大いなる約束の大地～チングス・ハーン」を演奏し見事金賞を受賞。A編成として東光中は“20年ぶり”の全道大会出場を勝ち取りました。



▲札幌コンサートホール Kitara にて

自由曲はモンゴル民謡がモチーフにされていますが、日本人にとっても何かノスタルジックな気持ちにさせてくれる美しい演奏で、会場からひととき大きな拍手をもらいました。

全道大会でも「札幌コンサートホール Kitara」という大舞台で堂々たる演奏を披露し、銀賞を獲得しました。久しぶりの全道大会ということで、部員たちは貴重な経験になったと思います。今後の活躍がますます楽しみです。



▲旭川市民文化会館にて

後期生徒会役員選挙

9月18日（木）に、後期生徒会役員選挙が実施され、後期の生徒会本部役員が決定しました。今回も立候補者が定数だったことから、無投票当選・所信表明演説会となりました。

後期は2年生が中心となって生徒会活動を牽引します。今まで先輩から学んだことを生かして、リーダーシップを発揮して活躍することを期待しています。



教育実習が終わりました

9月1日（月）から26日（金）までの4週間の間で、北海道教育大学旭川校と金沢大学から、あわせて4名の学生が東光中で教育実習を行いました。実習生は、子どもたちとのふれあいを大切にしながら、授業をしたり、学級活動をしたりして、実習期間を過ごしていました。実習の後半には、大学の教授や学生も参観する中で、研究授業を行いました。教育実習の経験を生かして、将来教員として活躍することを期待しています。



伝統を礎とした東光祭

9月12日（金）、テーマ「T i k T O K O～東光祭はね、楽しまない～」のもと「東光祭」が開催されました。プログラムは「開会式セレモニー」「吹奏楽部発表」「合唱コンクール」「生徒会企画（スーパーライブ）」「2学年教室催事・各展示」「3年生ステージ発表」「閉会式セレモニー」でした。どの発表も、東光中のスローガンである「挨拶しよう」「進んで活動しよう」「協力しよう」を体現した、独創性あふれる生き生きとした内容でした。特に、合唱コンクールは、東光中の伝統が感じられるクオリティの高さをはっきりと示しました。保護者の皆様からも絶賛をいただいております。また、開会式・閉会式セレモニーや全道コンクールに出場した吹奏楽部発表、スーパーライブでは、自然と手拍子や盛大な拍手が起こり、会場は温かい雰囲気包まれました。3年生ステージ発表では、修学旅行で研修した「東京ディズニーリゾート」での学びを還元しました。大道具や演出にも趣向を凝らし、劇やパフォーマンスで魅了しました。先生方も特別出演し、生徒たちと一体になってステージを盛り上げました。

本校の教職員は、さまざまな場面で生徒の良さを認めるとともに、生徒が課題を克服し、たくましく育つために支援・指導しています。今後とも、保護者と地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

東光祭 フォトアルバム



前日準備



オープニング



吹奏楽部発表



合唱コンクール3学年最優秀賞3年3組



3 学年ステージ発表



スーパーライブ



2 学年催事



1 学年装飾



美術科

学校評価（中間評価）結果

学校評価（保護者アンケート）にご協力いただき、ありがとうございます。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

【教職員・生徒・保護者アンケート結果】

項 目	評価者	具 体 的 内 容	平均
学校生活	保護者	お子さんは、楽しく学校へ行っている。	4.02
	生徒	毎日、楽しく学校生活を送れている。	4.38
自己肯定感・自己有用感	教職員	学校内外のボランティアへの参加を通して自己有用感の高揚を図る。また、そのような場面が設定されている。	3.78
	保護者	お子さまの自己肯定感が高い方である。	3.07
	生徒	自分はよいところがあると思いますか？	3.90
危機管理 （いじめの対応）	教師	いじめ見逃しゼロを学校全体で推進する。	4.46
	保護者	学校は「生命を大切にする指導」「いじめを許さない指導」を適切に行っている。	3.99
	生徒	東光中学校には、いじめや暴力はないと思う。	3.72
学年・学級	保護者	お子さんは、意欲をもち、授業や学級活動に取り組んでいる様子がうかがえる。	3.86
	生徒	生徒会活動・学級の係活動、学校行事に積極的に取り組んでいる。	4.28
学習指導	教師	「東光中授業スタイル」の実践による明確な目標の設定や、学んだことを振り返る場面を設定し、学習内容の理解と定着を図る。	4.13
	保護者	学校は、学習の基礎・基本の定着に向けて指導している。	4.05
	生徒	授業はわかりやすいと思う。	4.15
部活動	教師	生徒の心身の成長を促す部活動の指導に努めている。	4.46
	保護者	学校は、部活動の活動時間を守り、休養日を確保している。	4.37
生活習慣	保護者	お子さんは、メディア（ＴＶ・ＰＣ・スマホ・携帯・ゲーム機等）の利用をコントロールしていますか（学習目的以外での使用時間をお答えください）。	3.23
	生徒	先生や友達に挨拶がよくできている。	4.34
家庭学習	教師	I C T機器等を活用して、家庭学習の習慣化を図る。	3.46
	保護者	お子さんは家庭学習の習慣が身についている。	1.82

【教職員の間接評価と今後の対応】

各学年に共通して「楽しく学校に行っている」「相談しやすい雰囲気や環境がある」などの評価が高い傾向にあります。今後も、「分かりやすい授業」「教育相談の充実」を目指します。

生徒は「自分にはよいところがある」の評価が高いが、保護者は「子どもの自己肯定感」の評価は低い傾向にあります。質問内容が違うので一概に比較はできませんが、今後も、すべての教育活動を通して、「自己肯定感・自己有用感」を高める取組を推進します。

生徒は90%以上がスマートフォンを所持していて、1学期はSNSのトラブルがいくつかありました。今後も、道徳をはじめとして、出前授業などを通してスマートフォンの正しい使い方について指導します。

メディア時間の管理や家庭学習の習慣については、保護者の評価が低い傾向にあります。今後も、学習・生活リズムチェックなどの取組を通して啓発します。

体育大会の種目については、学級間で運動能力の差があっても創意工夫すれば好成績を上げることができるようなものにしたことで、学級の団結力を高めることができたので、今後も生徒が主体的に活動できる場面を増やしていきます。

秋の避難訓練については、実際の災害時に近い状況で実施できるよう、防災扉が閉じた状態で避難することを検討しています。

いじめ対応については、1学期で38件認知して、本人・保護者の意向に寄り添いながら対応してきました。今後も、未然防止・早期発見・組織的な対応を心掛けます。

生徒指導対応については、本人や周りの生徒の安全確保を念頭に、関係機関とも連携を図りながら組織的に対応しています。今後も、安心・安全な学校を目指します。

地域に貢献するボランティア活動については、幼保連携型バンビ認定こども園の運動会に中学生が参加し関係者から大好評でした。今後も、地域と連携した自己肯定感や自己有用感を高める活動を推進します。

自転車通学におけるヘルメット着用の義務化については、一部の生徒は、学校に近づいてから着用したり、ヘルメットなしで乗ったりしている実態があるので、今後も家庭と連携して指導していきます。

【保護者のご意見と今後の対応】

〇いつもあたたかく見守っていただき感謝しております。

▲家庭学習をしてもらう方法が難しいと思っています。声の掛け方が見つからない…。

⇒ 宿題や課題提出、定期テスト、単元テストの周知など、家庭学習の動機付けを工夫したり、教育相談の充実を図っていきます。

▲配付文書に誤りがないようにしてほしい。

⇒ 学校から配付する文書については、複数の目で確認するようにします。

▲学校の冷房機器を充実させてほしい。

⇒ 現在東光中には、保健室、1階音楽室、図書室にルームクーラーが設置されていますが、普通教室の設置は2年後になる見通しです。それまでは、簡易クーラーや扇風機、水分補給、暑さ指数による運動制限、涼しい服装の推奨等で乗り切りたいと考えています。